

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年 2月3日

【評価実施概要】

事業所番号	1171600479
法人名	株式会社吉田フロア-
事業所名	グループホーム楽しいわが家
所在地	362-0072 埼玉県上尾市中妻2-13-8 (電話) 048-778-2727

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年1月21日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	15 人	常勤	8人, 非常勤 7人, 常勤換算 8.02人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り	
	3 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	39,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 78.2 歳	最低	66 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上尾中央病院、中妻クリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームはJR北上尾駅より歩いて10分の幹線道路沿いにある。近くには幼稚園や公園などがあり、大型商業店舗までは歩いて行くことができる距離にある。ホームでは笑顔で心のこもった介護を意味する「和顔・愛護・尊厳」を理念として掲げ、施設長の自筆の理念が玄関に掲げられており、定例の会議では、施設長を中心に理念に沿う介護ができていないかを確認し、利用者の支援方法について話し合いが持たれている。また、運営推進会議には、区長(自治会長)や地域包括支援センター職員が参加し、運営を含めた協議と報告がされており、地域密着型サービスの趣旨を踏まえた取り組みが始められている。ホームは3階建ての建物の1階にあり、2・3階の一般住居に住んでいる職員がいるため、緊急時には素早い対応ができる体制になっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回外部評価で指摘された事項については、具体的な改善には至っていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>主任を含め事業所で良く話しあって作成されている。また、自己評価表が玄関に掲示され、いつでも見ることができる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>市担当職員は運営推進会議に参加できていない。しかし、市の職員も参加した運営推進会議が早期に実現するように、区長や行政への働きかけ、地域包括支援センターとの密接な協議がなされており、サービスの向上に向けて努力している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会は、まだ結成されていないが、事業設立5周年記念祭などの大きな行事の際に、ホームの運営について家族と話し合い、運営に関する要望などを聞き、サービスに反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>夏祭りや敬老会等の地域行事に参加しており、利用者の楽しみの一ひとつとなっている。しかし敬老会への入会は、地域に住所がなければ入会できないなどの制約がある。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	笑顔で心がこもった介護をするという「和顔・愛護・尊厳」を理念として掲げ、施設長の自筆の理念が玄関に掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のケアプラン会議などで、施設長が繰り返し理念について説明し、理念に沿った介護ができているか話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	区長(自治会長)とはよく話し合いがもたれ、情報交換をされている。敬老会は、利用者の住所が地元にないため入会はしていないが、夏祭りなど地域の行事には参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、それぞれの項目について職員の意見を聴き、施設長と主任とが担当して作成している。前回外部評価項目で指摘された事項については、全項目の改善には至っていない。		自己評価、外部評価において指摘された課題について、年間計画を立てて改善してほしい。また、運営推進会議でも取り上げて検討してほしい。さらに、家族へも結果について報告し、改善計画についても話されることを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、市の担当職員は参加できていない。しかし、施設長を中心に、区長、地域包括支援センターと、市の担当職員も参加した運営推進会議の開催に向けて話し合いがもたれている。		市の担当者、利用者家族、地域包括支援センター職員、民生委員からなる運営推進会議を早い時期に開催されることを期待したい。特に行政の積極的な参加が待たれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会をとらえて、事業所の状況を市の担当者に報告している。平成20年1月から介護相談員の受け入れを開始している。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	職員の異動や、金銭管理については個々に家族へ報告している。また、毎月1回、家族宛てに請求書を発送する際、利用者の暮らしぶりやホームの行事などについて記した手紙を同封している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所設立5周年記念祭などの大きな行事の際にホームの運営について家族と話し合い、運営に関する要望等を聞き、サービスに反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所開設当初からの職員がおり、利用者は安心して支援が受けられている。職員の有給休暇の消化率は100%であり、これも離職率が低い要因と思われる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での計画的な研修計画はできていないが、職員の研修意欲が高く、勤務のかたわら、ヘルパー2級の資格を取得した職員もいる。		職員の階層別の年間計画を作成し、研修されることが望まれる。外部研修を受講するばかりでなく、外部研修に参加した職員が研修内容を伝達したり、また、看護師が非常勤で勤務されているので、内部講師として研修されることを検討してみたいかがか。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症グループホーム協議会に加入して、認知症ケアの情報入手し、利用者の支援に役立てている。また、協議会加入者間の交流研修の機会を利用して職員を交換派遣し、同業者の良い仕組みや工夫を取り入れサービス向上に役立てている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前のアセスメントはしっかりなされており、見守り声掛けを行い、ゆっくり生活に馴染むように心配りがなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員と一緒に歌を歌ったり、話し合うなどして、支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の動作・状況や言動をよく観察し、記録もされている。さらに、そこから意向や要望を把握するため、ケア会議で話し合いがされている。		
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	経過記録や支援内容等は別々のノートにしっかり記録されているが、ケアプランには、介護保険情報や作成者、短期・長期目標、支援内容など、すべての内容が網羅されているとは言えない。また、毎月ケア会議が行われているが、その内容が計画内容に十分に反映されていない。		業務日誌や支援経過などの記録とケアプランをリンクさせ、家族や職員の誰が見てもわかりやすいケアプランであることが望ましい。介護保険情報や作成者、短期・長期目標、支援内容など、必要な内容をすべて記入されるようなケアプランの様式に改善されることが望まれる。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のケア会議では、利用者全員についてケアプランの見直しが検討されている。また、そのケアプランに変更がある場合はケアプランを家族に説明し了解を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	希望者にはドライブやサイクルショップ、デパートに買い出しと一緒にしている。ケアプランに記載されている方には、日常的な買い出しに行っているなど、利用者の要望に応じた柔軟な対応を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの提携医療機関を確信しているが、利用者やその家族が希望する医療機関で受診することができ、通院介助も行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所の方針として、看取りは行わないことにしているが、終末期の在り方などについては勉強会を始めている。また、家族の希望を把握し、話し合いを持つようにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねる言葉掛けや対応はされていない。プライバシー保護に関しては同意書が作成されており、遵守に努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の生活歴を大切に、入居前の生活や気持ちを大事にし、なるべく意向に沿うよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員の工夫と料理の本を活用し、利用者個人の好みも考慮して食事のメニューが作られ、それをもとにして調理している。なお、利用者の心身の状態が次第に重度化しているため、後片付けをしている人は限られている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望によって毎日の入浴や好きな時間帯での入浴も可能である。入浴を拒否する方には、お風呂の掃除当番などに誘うなど、自然に入浴ができるよう声掛けを工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯ものを干したり、たたんだりする役割を決めている。また、モップかけや花の水やりなど、利用者一人ひとりの生活歴や力を活かした役割をもって生活している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日近くの公園へ散歩したり、ラーメン屋で食事したりして変化を持たせている。また、カラオケに行くことを楽しみにしている人もいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	過去に離棟者が出たことから、利用者の安全確保のため、常時正面玄関には施錠している。		外出願望の方や日中表に出たい方もいると思われるので、職員体制にゆとりがある時間帯や利用者が表に出たい意思表示をした時は、利用者の安全性を確保して、短時間でも鍵をかけないケアやの実践を検討してほしい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練、消火訓練などが実施されており、非常時の対応については、近隣住民に協力依頼をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	簡易なカロリー計算は行われているが、栄養摂取量については特に栄養士の意見を聞くなどの仕組みはない。また、水分摂取の記録がない。		栄養摂取などについては、県栄養士会や地域の保健センターが栄養相談をしているので、今後は栄養摂取量の把握に取り組んでいただきたい。また、水分摂取の記録と対応ができる体制を作ること期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔が保たれている。共用スペースには和室があり、落ち着いた空間となっている。また、季節感が出るように壁にはぬり絵や写真が飾られている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には、利用者が使い慣れた筆筒を置いたり、お孫さんの写真などその人の人生が凝縮された思い出の品が飾られている。また食事の際の食器は、すべてではないが個人の物を使っている。		